

# 明中瓦版

発行 富田 林市立明治池中学校

10月号 発行日 令和3年10月1日

## 「主張」の大切さ！体育大会無事終了！

校長 西田 和弘

9月25日（土）に実施した体育大会を無事終了することができました。子どもたちへたくさんの応援をいただきありがとうございました。このコロナ禍において学校行事を一つひとつ終わらせることは、保護者の皆様、子どもたちの感染症予防対策の日ごろの努力の賜物だと強く感じております。また、PTA本部役員の方をはじめ学級委員の皆さんには、当日の大会運営に多大なご協力をいただき深く感謝いたします。ありがとうございました。

さて、9月に行われた3年生の「明中生の主張」を参観しました。当日の様子はHPでアップされていますが、代表の8名が立派に個々の主張を行っていました。

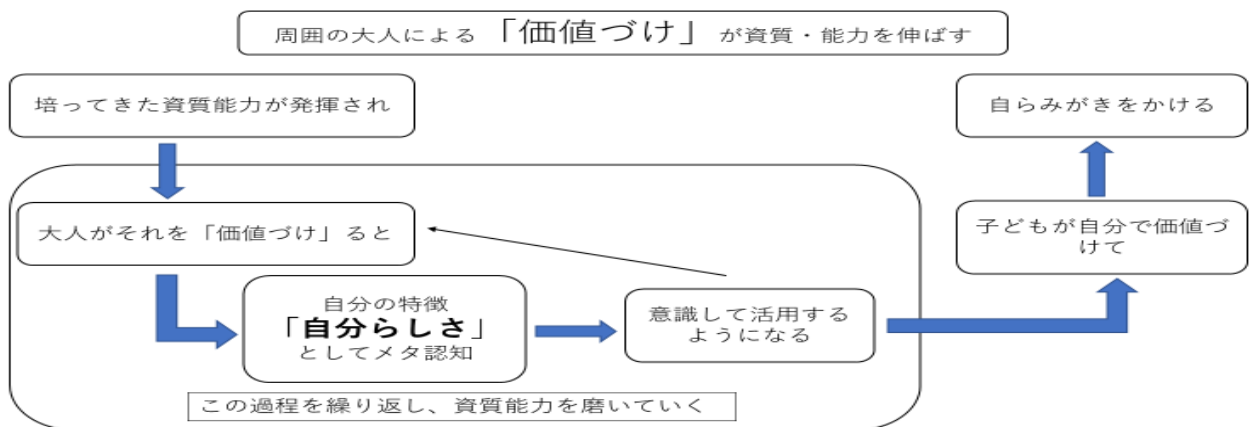
これからの時代を生きていく子どもたちに求められる資質・能力の一つにこの主張する能力があると思います。多くの人前で主張する経験は子どもにとってかけがえのない財産になります。

主張で大切にしなければいけないことはいくつかありますが、その中でも「（聞き手の）立場や考えの違いをふまえること」「根拠に基づいた主張であること」の二つが大切であると考えています。特に、聞き手の印象に影響を与え、主張に説得力を持たすためには、その根拠をどのように示すかによります。

3年生の主張では、「自らの体験に基づくもの」や「世の中のながれや考えに基づくもの」、そして「周りの人からのアドバイスに基づくもの」「これまで学習したに基づくもの」などの根拠を用いて主張をしていました。主張を終えた子どもたちに「体験の大切さ」が「挑戦」することにつながり、「立場や考えの違い」は「共生」につながる。そして挑戦すること、共生することがうまくいかずに不安になったときでも、「あきらめず粘り強く行う」ことが、「継続」につながることを伝え、めざす子ども像の3つのキーワードとの関係を示しました。そして、明中生の主張だけに限らず、すべての教育活動のねらいがこのめざす子ども像にあらわされていることも併せて伝えました。

子どもたちは、日々の学習活動を通じて新しい発見や知識が身につけていきます。その発見や知識の一つひとつを現在から未来につなげていくことが、子どもの変容に大きく影響します。同時に、周りの大人がその成長（変容）を価値づけることで資質・能力を伸ばすことができます。

### 子どもの資質・能力を伸ばすプロセス



東京大学大学院 藤江教授資料より

“**Challenge!** 進取果敢 **MEIJIKE**” を合言葉に！

小金台小・明治池中 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～